



荒川区西日暮里2-55-1
国鉄労組東京地方本部
発行責任者 鎌田博一
編集責任者 常盤達雄

No.1775
2014年
10月5日

第65回定期地方大会 組織拡大へ 団結固める

東京地方本部は九月二〇日九時三〇分から発明会館において、第六五回定期地方大会を開催した。

大会議長には斎藤代議員(新橋支部)、副議長には相川代議員(新橋支部)を選出し、鎌田委員長はあいさつで、組織強化・拡大、安全・安定輸送の確立、労働条件の改善、平和と民主主義、労働法制改悪反対などの取り組み強化を訴えた。

来賓には多くの方々が見えられ、平和と民主主義の問題や、政治的課題などさまざまな連帯のあいさつがされた。上部機関からは、国労本部高野委員長をはじめ、本部、東日本本部役員の出席をいただき、代表して国労東日本本部松井委員長から、東日本本部の取り組みや、今後の国労運動の考え方などが報告された。国労東京議員団からは三名が出席され、代表して高橋勝団長(青梅市議)があい



二〇一四年度の闘争方針が確立した。(代議員の発言や書記長の集約の要旨は、次号・号外に掲載予定)

永年勤続表彰のあと、ストライキに対する一票投票が行われ、ストライキ権が確立、特別決議二本と大会宣言が承認され、最後に鎌田委員長の団結がんばろうで、これからの一年間東京地方本部の全組合員が組織拡大をはじめ、さまざまな取り組みに全力を上げていく決意を固めた。

来賓にいられた方々

東京平和運動センター
東京地評
東京全労協
社会民主党東京都連合
日本共産党東京都委員会
全国交通共済東日本本部
一般財団法人国労会館
鉄道退職者会東京地連

堀本事務局長
清水事務局次長
阿部専務理事
高橋 勝 (青梅市) 事務局長
河野達男 (新宿区) 本池奈美枝 (柏市) 高木大郎弁護士

石井富男 (新橋支部)
姉崎憲敏 (神奈川地区本部)
高田幸一 (大宮地区本部)
武田信康 (大宮地区本部)
前田幸造 (八王子地区本部)

メッセージをいただいた団体
東京都交通運輸産業労働組合協議会
東京都労働組合連合会
自治労東京都本部
中央労働金庫 東京都本部
盛岡、秋田、仙台、新潟、高崎、水戸、千葉、長野、近畿の各地方本部
永年勤続表彰された方 (敬称略)



武蔵新城駅 国労加入歓迎会 武蔵中原駅分会

神奈川地区本部武蔵中原駅分会は、六月にJESS武蔵新城駅で国労加入した武井さんと、武蔵中原駅で助役発令された田中さんの歓迎会を八月二二日に行った。

歓迎会は加山分会長のあいさつから始まり、川崎支部広瀬委員長、東京地本小澤組織部長、神奈川地区本部服部書記長からそれぞれお祝いのあいさつがされた。

その中で武井さんは「これまで東急の下請け会社、東急レールウェイサービスで働いていましたが、正社員にはなれない条件だったため、六〇歳まで働けるJESSのエリアエキスパート社員に応募・入社しました。国労に加入したのは、これまで外から見ていて、国労の人たちは仲間意識があり、これまでの自分の所と違って見えたから」などのあいさつを行った。また、田中さんは「長野からの広域で矢向駅に八年、尻手駅に七年、横浜駅に行っただけで、助役発令でまた南武線に戻りました。会社施策も大きく変わっています。分母(受験者)が増えなければ、分子(合格者)も増えませんが、受験資格がある人は受けてください。私にできる事はしていきたいと思っています」などのあいさつがされ、歓迎会はなごやかに終わった。

はじめに、組織強化・拡大の取り組みについてです。

今日まで、各分会をはじめ各級機関、組合員の粘り強い取り組みにより、本年に入り、全国的には〇〇名、東京地本では〇〇名の国労加入・復帰が報告されています。新入社員をはじめ20代の貨物職場の青年、グリーンスタッフやJESSにおける委託職場でのプロパー社員、そして「最後は国労で」とシニア世代の先輩など、幅広い年齢層・所属会社や雇用形態の異なる仲間たちが国労を選択しています。私たちが職場や仕事の中心軸となり、職場で働くすべての仲間の声や気持ちを共有化し、人間的なつながり・信頼関係を強めるとともに、職場改善を進める分会・職場活動のあらゆる取り組みが確実に拡大に結びついてきた結果です。

労働条件・職場環境改善の闘いと組織拡大の取り組みは、一体であることを全体で確認し合い、成果と教訓を検証し、意思統一を図る中で、拡大運動を展開していかなければなりません。そして何よりも、全組合員が組織拡大運動を通じて、国労運動を職場に根付かせていくことを最大の責務として捉え、認識し合うことが急務です。

次に、安全・安定輸送の確立と全ての職場における労働条件改善の取り組みについてです。

JR各社では、業務委託・外注化の推進をはじめ合理化・効率化施策により、車両・設備故障、川崎駅における脱線転覆事故など輸送障害と重大事故の多発など、安心して働ける環境が奪われ続けています。JR北海道における相次ぐ事故や重大トラブル、コンプライアンス違反に起因する事象は、全社共通する課題です。

「安全が最優先される」企業文化の定着と合わせ、「安全の番人・点検者」としての労働組合の役割と任務が極めて重要になっています。誰もが「安全・安心に働ける職場づくり」を構築することと合わせ、安全・安定輸送への信頼回復に向けた取り組みをより一層強化し、労働条件改善、教育・技術継承・人材育成を求めていくために、日常的な「安全・仕事総点検運動」を全職場に定着させ、取り組みの強化を図っていきます。

次に、今日的な政治反動と平和と民主主義の課題についてです。

安倍暴走政権は、「国家安全保障会議設置法」や「特定秘密保護法」の制定をはじめ「武器輸出三原則」の緩和、労働法制の改悪等々、国民生活の破壊と政治的反動性をより一段と強めてきているのが今日の現状です。

こうした中で「集団的自衛権行使容認」の閣議決定を強行し、憲法解釈の変更を、一内閣の閣議決定により強行することは、まさに立憲主義の否定であり、断じて容認できるものではありません。

同時に、原発ゼロ目標を撤回し、原発輸出のトップセールスにまい進し、川内原発の再稼働を突破口に原発再稼働を本格化させようとしています。「人類と核は共存できない」という国民の怒りの声を結集する中で、原発ゼロの目標と再生可能エネルギーへの早期転換に向けた取り組みを強化することが求められています。

また、「世界で一番企業が活動しやすい国」を掲げ労働法制の規制緩和を推し進めようとしています。そして、「労働者派遣法改正案」を臨時国会に再上程し、成立を目前と動きをより一層強めています。地方本部は「集団的自衛権行使容認阻止! 残業代ゼロNO! 憲法改悪を許さない」国労東京8・23集会を開催し、国民的・政治的緊迫した諸情勢について確認し合い、安倍反動政権と徹底して対決する意思統一を深め合ってきました。

私たちに求められている諸課題は、まさに鮮明になっています。

今日まで築き上げてきた闘いやあらゆる取り組みに自信と確信を深め、当面する諸課題の実現に向け国労東京地方本部がその先頭に立ち、奮闘する決意を申し上げ、執行委員会を代表しての挨拶といたします。



国労東京野球大会 東京駅チーム2連覇

東京地方本部は九月四日に大井スポーツセンターにおいて「第四二回国労東京委員長杯争奪軟式野球大会」の準決勝・決勝戦を開催した。

八月五日に開催された一回戦・二回戦では、新橋支部Aチーム(東京駅)、神奈川地区本部Aチーム(中原電区)、八王子地区本部Aチーム(立川車掌区)、八王子地区本部Bチーム(八王子地区協)が勝ち上がり、この四チームによる準決勝・決勝・三位決定戦が行われた。

準決勝は一時四五分から八王子B対新橋A、八王子A対神奈川Aの組み合わせで行われ、新橋Aが八王子Bを圧倒し、八王子Aは神奈川Aを接戦で破り決勝に進出した。

決勝戦は一時五五分に開始され、新橋A才田投手、八王子A大野投手の投げ合いが始まった。試合は準決勝の勢いそのままに新橋Aチームが圧倒し、一回表に中堅越え二塁打のあと三塁にすすみ、レフトフライでまず一点。四回表には、レフト前ヒット二本、レフトオーバー二塁打二本などで六点をあげ、試合を決定づけ、一五対〇で新橋Aチームが優勝し、二連覇となった。



審判団のみなさん



また、三位決定戦では乱打戦を制した神奈川Aチームが一八対七で三位となった。個人賞は、審判団の協議の結果、最高殊勲選手賞・最優秀投手賞・打撃賞のいずれも新橋Aチーム才田選手に贈る事を決め、敢闘賞は八王子Aチーム大野選手に贈られた。最後に、大会開催に協力いただいた、国労東京審判団をはじめ、各機関・各チームの皆様にお礼を申し上げます。

9.28 さようなら原発 全国大集会

東京地方本部は、九月二三日に亀戸中央公園で行われた「さようなら原発全国大集会」に参加した。

集会には会場を埋め尽くす一六、〇〇〇人が全国から結集し、原発廃止を訴えた。大江健三郎さんや澤地久枝さん、落合恵子さんなどに続き、「原発いらない福島の人たち」や「反原発・かごしまネット」など



敢闘賞 大野選手



三冠 才田選手

の団体、韓国や台湾からも反原発の訴えがあった。集会後は錦糸町までのデモ行進に移り、さまざまなプラカードなどで、沿道の方に反原発をアピールした。

国労東京 海つり大会 11月8日7時 川崎 つり幸 集合 申し込みは 各地区本部・支部へ	国労東京 新春マラソン大会 1月10日 皇居1周・2周 集合時間・集合場所は別途でお知らせします
国労東京法律相談 毎月第二水曜日 初回無料 14時～16時 5日前までに (各30分) 申し込んでください ★緊急に相談が必要な場合は、ご連絡ください	



「がん」の保障 《生きるためのがん保険Days(デイズ)》

スタンダードプラン 入院給付金日額 10,000円の場合 保険期間：終身(抗がん剤治療特約は10年更新) 契約年齢：0歳～80歳

初めて診断確定されたとき	診断給付金	がんの場合 上皮内新生物の場合	一時金として 100万円 一時金として 10万円
入院したとき	入院給付金	1日につき	10,000円
通院したとき	通院給付金	1日につき	10,000円
手術したとき	手術治療給付金	1回につき	20万円
放射線治療を受けたとき	放射線治療給付金	1回につき	20万円
抗がん剤治療を受けたとき (上皮内新生物は対象外)	抗がん剤治療給付金	抗がん剤治療を受けた月ごとに 乳がん・前立腺がんのホルモン療法するとき (すべての保険期間を通じ通算600万円まで)	1カ月 10万円 1カ月 5万円

プレミアムサポート 訪問面談サービスと専門医紹介(このサービスは、株式会社法研が提供するサービスです)

【引受保険会社】アフラック東京第三法人営業部 〒163-0456 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル 当社保険に関するお問い合わせ・各種手続き

【募集代理店】アベニール株式会社 〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5 交通ビル3F

コールセンター 0120-5555-95 電話 03-3437-6810 ファックス 03-3437-6822

「生きる」を創る。Aflac

◆月払保険料(団体取扱) (2011年4月1日現在)
生きるためのがん保険Days(デイズ)スタンダードプラン
入院給付金日額10,000円 定額タイプ
保険料払込期間：終身(抗がん剤治療特約は10年更新)

	35歳	45歳	55歳	65歳
男性	3,656円	5,608円	9,360円	15,190円
女性	3,734円	5,274円	6,864円	9,048円

〈抗がん剤治療特約〉の更新後の保険料は更新時の年齢・保険料率によって決まります。

【取りまとめ先】アベニール株式会社 東京営業所
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-55-1 国労東京地方本部内
JR電話 054-2548 ファックス 03-3806-9275
電話 03-3806-9264

©詳しくは、パンフレット(契約概要)をご覧ください。 AF007-2011-0186 4月25日